

高冷地育苗における施設イチゴの早進化技術

第1報 山上げ・山下げ時期について

山田芳文・佐藤照美・佐藤 如 (大分県農業技術センター)

Yoshifumi YAMADA, Terumi SATO and Hitoshi SATO : Raising Seedling of Forcing Strawberry in Pot at the Regions of High Altitude.

1. Effective Time of Raising Seedling to Flower-Bud Formation

ポット育苗による高冷地への山上げ, 山下げ時期が花芽分化と早期多収に及ぼす影響について検討した結果の概要を報告する。

1 試験方法

品種は“宝交早生”を用い, 山砂2 : くん炭1の用土を用いた4号黒色ポリポットに6月中旬挿苗した。育苗は山上げまでは, 雨除けハウス下で, 山上げ後は雨除け処理は行わなかった。育苗中はN成分で100~120mg/鉢の施肥を行い, 山上げ場所は標高900m (7月~9月平均気温20.7℃)で, 山下げ場所は場内圃場(標高30m)とした。山上げ時期は, 1983年は8月1日, 10日, 20日, 1984年は8月1日, 10日, 20日, 30日に行い, 山下げ時期は, 1983年は8月30日, 9月6日, 13日の3回とし, 1984年は分化直後と分化10日後の2回とした。元肥は三要素成分で各0.8kg/aとし, 追肥はN:P₂O₅:K₂O₅=0.4:0.28:0.36kg/a施用した。保温開始期は1983年10月21日, 1984年は10月19日に行った。

2. 試験結果及び考察

苗の生育をクラウン径でみると, 山下げ時にはいずれも平地苗と同じ12~13mmの大きさになっていた。なお山上げ時のクラウン径から, 早い山上げについては高冷地においても肥大が行われていたことが確認された。

花芽分化は, 早い山上げでは分化は早くなるが, 山上げ期間が長くなり, 一方遅い山上げでは, 山上げ期間は短くなるが分化は遅れ, 腋花房の出蕾・開花も遅れる傾向がみられた。山下げ時期は, 未分化では出蕾・開花・に不そろいがみられ, 分化後遅くなると, 出蕾, 開花・収穫期は遅れる傾向になった。また, 遅い山上げでは, 分化後遅くなると出蕾が不そろいになったが, これは, 高冷地での環境条件が厳しくなり, 草勢の回復に時間がかかったためと思われる。これらから, 花芽分化に影響を及ぼす温度・日長・N条件は, 8月20日以降にあることが推察された。また, 高冷地育苗でも平地ポットと同様に山下げ定植は花芽分化確認後に行うことが必要であり, 未分化および肥厚期時期の山下げ定植は出蕾の不そろいや遅れを生じるため好ましくないことが証明された。

開花期・収穫始は, 1984年の場合, 8月下旬~9月上旬にかけての高温が花芽分化を遅らせ10月~11月にかけての天候が平地ポットを含め, 生育を促進させたために, 出蕾の最も早かった8月10日山上げ分化直後定植区の開

花は10月下旬となり, 収穫始は11月下旬となった。これは, 平地ポットに比べ出蕾で7日, 開花で8日, 収穫始期で11日早進化される程度にとどまった。

花数は, 遅く山上げするほど, また分化直後より分化10日後山下げする方が, 少なくなる傾向がみられた。これは, 花芽分化時の株の栄養条件が関係しているものと思われる。

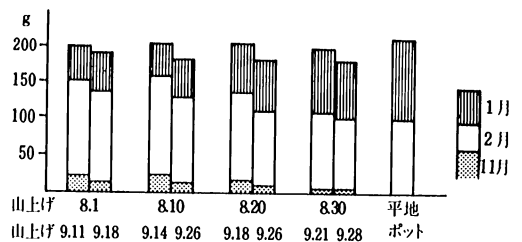
第1表 出蕾期, 開花期, 収穫始(1984年)

山上げ時期	山上げ時期	山上げ期間	出蕾		開花		収穫始	花数
			月日	標準偏差	月日	月日		
8.1	分化直後(9.11)	42	10.23	5.20	11.1	12.2	35.0	
	◇10日後(9.18)	49	10.23	2.68	11.2	12.3	30.2	
8.10	分化直後(9.14)	35	10.22	2.50	10.31	11.30	32.3	
	◇10日後(9.26)	47	10.26	1.77	11.4	12.3	22.1	
8.20	分化直後(9.18)	29	10.24	4.24	11.3	12.4	29.8	
	◇10日後(9.26)	37	10.27	5.44	11.5	12.8	25.9	
8.30	分化直後(9.21)	22	10.28	5.05	11.6	12.10	27.6	
	◇10日後(9.28)	29	10.30	5.74	11.8	12.12	28.1	
平地ポット	(9.25)		10.29	2.05	11.8	12.11	37.4	

注) 1. 平地ポットは8月10日以降雨除けなし。(20株当たり)

収量は, 8月10日山上げ分化直後定植で優れ, 年内収量で株当たり150gと多収であったが, 山下げが遅れると年内収量は低くなった。また, 分化10日後定植は, 分化後定植に比べいづれも低収となった。

以上の結果から, ポット苗の山上げ育苗において, 山上げ時間は8月1日~8月20日までの間であれば効果は高まることが認められたが, 花芽分化のそろいや収量等の安定性の面から8月10日前後が望ましいと考えられる。更に, 山下げ時期は花芽分化直後に行えば, 早勢の回復が早まり, 早期収量が上がる事が判明した。



第1図 山上げ, 山下げ時期別収量(1984年, 株当たり)